

教室だより

〒952-1209 佐渡市千種丙 178 番地 1

TEL : 0259 (63) 4156 (直) 4115 (代) FAX : 4117

http://kanai-es.sado.ed.jp E-mail : skotoba@sado.ed.jp

佐渡市立金井小学校
佐渡ことば・こころの教室

令和2年5月8日

第 867 号

祝 両津小教室 開設おめでとう号!

この4月から両津小学校常任でことばの指導ができるようになりました。ことば・こころの教室での指導時間以外に、お子さんの様子を見ることができるのはとても嬉しいことです。

今号表面は、両津小特集になっています。



笑顔で接する

佐渡市立両津小学校
校長 三浦 一富

今年から、初めて介助員として勤めてくれているAさん。私が「(介助員のお仕事) どうですか?」と尋ねると、「笑顔で子どもたちと接するようにしています。」と、にこやかに応えてくれました。人と人がフェイス・トゥ・フェイスで向き合うとき、相手の笑顔は、こちらの緊張感を和らげてくれます。気持ちのよいコミュニケーションのスタートです。Aさんは、そのお人柄からも、相手に安心感を感じさせてくれます。その土台にあるのは、やはり「笑顔」なんだと、改めて感じました。子どもたちと笑顔で接すること、大切にしていきたいです。

さて、今年度から両津小学校に通級指導教室(言語)が設置されました。これまで分教室として、金井小学校から指導に来ていただいていた。今年度からは、本教室として、両津地区を中心に子どもたちの支援に取り組みます。特別支援教育の一層の充実が実現されるはず。応援、よろしく願いいたします。



子どもたちとの再会

一昨年まで両津小学校で、一緒に勉強していた子どもたちと再会しました。

新任式では、最前列に座っていたAさんと目が合いました。マスクをしてもお互いのことが分かり、目で合図を送り合いました。ことば・こころの教室に通って来る子どもたちと担当者の間には、不思議な心の通い合いが生まれることがあります。再会し、これからまた一緒に勉強できることになり、何かとても懐かしいような安心するような気持ちです。翌日、ある学年の教室に行ったところ、Bさんは「バイバイ」と言いながら手を振ってくれました。その打ち解けた様子は、担任の先生がびっくりするほどです。Cさんは、「前の先生は、どこの学校へ行ったのですか?『今度他の学校に行くことになった』って言ってくれればいいのに…」と話しかけてきました。そこで、事情を丁寧に説明しました。Cさんは「ああ、そうなんですか。」と少し気持ちが落ち着いたようです。

両津地区の全員と再会することと、今度初めて一緒に勉強することになった子どもたちと出会うことを楽しみにしています。子どもたちの揺れている心に、どんな支援をしていったらよいか…考えながら、寄り添いながら、進んで行こうと思っています。

(逸見)



親の会コーナー



保護者の声

金井 K・N



保育園の年長からことばの教室に通っています。滑舌が悪かった息子が、少しずつ上手に発音ができるようになっていて、息子の練習の成果を見ることができ嬉しいです。何より息子は教室が毎回楽しいようです。先生が息子の得意分野の話聞いてくれたり、息子の興味のあることを行う時間を毎回作ってくれたり工夫してくださっていて、息子が楽しかったと教室の話をしてくれることが私の楽しみでもあります。私も教室での様子を見たことがありますが、息子は生き活きと楽しそうに頑張っていました。

先生方が息子のやる気を引き出してくれることに感謝して、これからも息子の成長を見守りたいと思います。

令和2年度 親の会活動計画

今年度の親の会活動計画です。新型コロナウイルス感染症対策のため、例年と大きく変わっております。よろしくお願いたします。

- | | |
|---------------------|---|
| 4月 | 第1回役員会 |
| 5月9日(土) | 親の会総会 ⇒ 書面総会とする。 |
| | 第2回役員会 ⇒ オンライン上で実施する。 |
| 6月27日(土) | 第1回学習会 |
| | ⇒ <u>島内の高等学校で通級による指導を受けることができるようにするための署名活動に替える。</u> |
| 9月 | 第3回役員会 |
| 11月14日(土) | 第2回学習会 ※9月に実施の有無を検討する。 |
| | 第4回役員会 |
| 3月19日(金) | 修了者懇話会 |

ことば・こころ応援団



ことば・こころ応援団は、子育てに奮闘しておられるおうちの方に向けての応援メッセージを紹介するコーナーです。

記念すべき第一回目は、元親の会会長の後藤節子さんです。後藤さんは、昨年50周年記念事業に参加してくださいました。そのときの感想を新潟日報「窓」に投稿してくださいました。読まれた方もいると思います。親の会会長を退かれた現在も、佐渡ことば・こころの教室を思い、応援してくださっています。

和と輪で喜びと感動を！

元親の会会長 後藤 節子

親の会の皆様こんにちは。私は、教室を終了させていただいてから40年余りになります。無知で不勉強な私を、先生方、地域の方々、そして暖かく迎えてくださった先輩、同士の方々に支えていただき、キャンプやお楽しみ会、講演会、施設訪問等々、親同士の交流の場に楽しく参加した頃を今でも懐かしく思い出します。そして、何でも語り、助け合って、心にゆとりと安心の時間をいただきました。また、親こそ最大の指導者と、励まし支えてくださった先生方のご熱意は、今でも心の奥に深く刻まれています。

最高の教室で学べることの幸せと、親同士の強い絆で、和と輪を大切に、周りの方々には味わえない喜びと感動をつかんでください。子どもは、お父さん、お母さんのそっとふれてくれる暖かい手を待っています。

皆様のご健康とお幸せを心からお祈りしております。

